

第76回水道事業審議会 質疑等

日 時 令和5年7月14日（金）
14時～15時10分
場 所 岡山市水道局 本局3階
災害対策室

■財政健全化に向けた議論について（第8回）

- ・ 資料23ページの財政見通しでは8年先までだが、もう少し長期的な検討をしていないのか。
⇒ 施設・管路の更新についてはもう少し長いスパンでの検討を行っているが、現在、詳細な財政見通しとして策定しているのは令和13年度まで。物価状況等の不確定要素もあるので、10年間の財政見通しを基本に進捗状況を確認しつつ、状況の変化に応じて適宜見直しを図っていく形にならざるを得ないのではないかと考えている。
- ・ 前回提案の改定率25.3%から今回最低限の値上げ、改定率20.6%にとどめる方針については、やらざるを得ないと考えているが、今後更なる物価高騰が発生した場合、それへの対応はどう考えているか。
⇒ 現在想定できる範囲が、資料23ページの財政の見通しになる。突発的なものがあれば、内部留保資金を使っていくことになる。現時点で具体案があるわけではないが、新たな技術の活用も含め、更に費用を抑えながら事業を進めていくことで、突発的な物価高騰等に備えていくつもりである。
- ・ 資料27ページ、28ページに政令市、県内の比較が出ているが、岡山市と同様にこういった議論を進めている自治体はあるか。
⇒ 政令市では、浜松市が表明しており、これから検討に着手すると聞いている。また、他都市からの照会も増えており、厳しい状況にある都市が多くなっているのではと推察される。